

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	(主)三分中込線				
事業毎の通番		14	市町村名	佐久市	箇所名(ふりがな)	三分～平賀(みぶん～ひらが)			
事業概要	事業目的	本路線は、南佐久郡と内山峠、軽井沢方面を結ぶ佐久地域の千曲川右岸の補助幹線道路である。当該区間の南側は、海瀬～羽黒山BP・入沢～三分BPにより整備済みであり、現在交通量が急激に増え、将来に渡りさらなる増大が見込まれている。しかし、入沢～三分BPの北側終点である下仁田田線は、人家連担で歩道のない道路のため、佐久方面への通行に支障をきたしている。また、幅員が狭く、線形も悪く、さらに通学路にもなっている生活道路であり、大型車の通行も困難である。このため道路交通の安全・円滑化を図るため、早期の道路整備が必要である。							
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	道路法					
	関連する事業、計画等	広域道路網マスタープラン							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量：2,000台/日							
	着手年度	平成27年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	1.8	国庫	480,000	その他	288,000	県債
全体事業内容(主な工種)	道路改築工 L=3,500m W=6.0(9.75)m			800,000	480,000		288,000	32,000	
年度事業内容(主な工種)									
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間、経費等の減少 8億							
	間接的効果(定量的・定性的)	交通安全(通学路の安全確保)							
評価の視点	必要性	○代替道路の有無：代替道路あるが安全性低い ○交通結節点アクセス：JR臼田駅への1次アクセス道路 ○観光地アクセス：龍岡城五稜郭に通じる道路 ○地域の活性化：佐久市～佐久穂町を結ぶルートとして市町間の連携促進						評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：しあわせ信州創造プラン 調査箇所、佐久市都市計画区域マスタープラン ○緊急輸送道路の路線指定：田口小学校(広域避難場所)への避難経路 ○地域指定：なし						評価	B
	効率性	○費用対効果(B/C)：1.8 ○事業期間：8年 ○代替案の検討：なし ○他事業との連携：佐久市道路事業						評価	B
	緊急性	○近年の交通事故件数：H19～H21 3件 ○危険箇所対策：朝夕の歩行者安全確保 ○歩道整備：通学路指定 ○道路構造：現況幅員 5.0m						評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有：平成25年度に主たる地権者に意向確認を実施 ○地域の取り組み：(一)三分中込線道路改良推進対策協議会 ○地域の合意形成：合意形成は図られていない ○住民との協働：住民関与は低い						評価	C
	部意見	事業の必要性、緊急性が高いが、地域の合意形成など計画熟度が低いため、事業化を見送りたい。	行政改革課意見	必要性が認められる。	評価結果	総合評価			

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

【整備の必要性がわかる状況写真等】

標準断面図

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本路線は、南佐久郡と内山峠、軽井沢方面を結ぶ佐久地域の千曲川右岸の補助幹線道路である。当該区間の南側は、海瀬～羽黒山BP・入沢～三分BPにより整備済みであり、現在交通量が急激に増え、将来に渡りさらなる増大が見込まれているが、入沢～三分BPの北側終点である下仁田田線は、人家連担で歩道のない道路のため、佐久方面への通行に支障をきたしている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	本事業箇所は、幅員が狭く、線形も悪く、さらに通学路にもなっている生活道路であり、大型車の通行も困難である。このため道路交通の安全・円滑化を図るため、早期の道路整備を、毎年、地元・佐久市から要望されている。
③事業説明等の経緯	全体的な地元説明会は未実施であるが、平成25年度に主たる地権者への意向確認を実施した。また、6月には推進対策協議会の総会が開催される予定である。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	沿道には住宅が建ち並んでおり、歩車道分離を進めることにより、歩道の安全・住環境に配慮した計画を進める。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、佐久市～南佐久地域の連携に寄与するものと期待される。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36° 11' 32" 東経:E 138° 29' 43"